

美篤西部保育園

住 所：伊那市美篤9598 定 員：120名

全園児80名ほどの中規模園である。日々の生活、散歩、行事などいつでも異年齢の関わりの中で行われている。園庭には桜イチョウなどの大きな木があり四季折々の変化を身近に感じ、木蔭は心地よいあそび場になっている。この広い庭で年齢が入り混じって朝早くからいろいろな遊びを繰り広げている。



手滑り、怖いけど
上手に滑れるよ

廃タイヤ
基地になったりするよ



木についているロープ
上手に渡れるよ



わが園の
シンボルツリー 『さくら』

不思議がる 試してみたがる おもしろがる エピソード

い～な がるがるっ子

「砂・土・水は みんなのともだち」

朝からみんなで庭に出て好きな場所でやりたい事を見つけて遊ぶ。上の子の遊ぶ姿を真似しながら小さい子も赤土山でこねて丸めてこすって、団子やクッキーを作り、砂場で山作りや型ぬきを楽しむ。そんな中で同じさらさら粉でも土と砂、湿っぽい時といた時とでは違う状態であると気付いて行く。赤土をこねて丸める時と丸まらない時があり『どうして?』と不思議に思いながら工夫していく。そんな体験を大切に、何かを感じ、自ら遊び出せる力のある子に育ててほしい。



泥んこになって遊べる
ようになってきたよ。

「ねえーねえークッキー
できたよ!これ、見てごらん」



シートを敷いての
プール、楽しいよ。



みんなで山と川を作って
つなげて水入れて流れるかな?

保育士のコメント

砂場のネットを使っただけのサラサラ粉作りは上の子のやっている姿を伝承している子。雨が降ったあとの砂の状態ですり具合を試している子。言葉数が少ない子もしっかり表情で発信している子。みんなに共感してもらうことで園生活を自信持って楽しんでいけるんだね。

